

河原田家武家屋敷: 仙北市指定史跡

河原田家は、1603 年に蘆名氏が秋田藩に移る前からの蘆名氏の譜代でした。1653 年に蘆名氏の家系が断絶した後、河原田家は佐竹北家の家臣になりました。佐竹北家は 1650 年代から 1871 年に幕藩体制が廃止されるまで角館を治めました。

河原田家は明治時代（1868-1912）に現在の場所に移り住みましたが、屋敷は江戸時代（1603-1867）の初期に一般的だった様式で建てられました。この古い様式を示す特徴として、書院造りという江戸時代の住宅建築様式でつくられた謹厳な座敷が挙げられます。建物の向こう側には、簡素な庭と倉があります。

長年にわたり、河原田家は、この地方で最初の発電所の建設などの地域に貢献するさまざまな事業に携わってきました。河原田家の屋敷は、この地域で最初に電力が供給された家です。また、河原田家は広く愛される詩人・童話作家の宮沢賢治（1896-1933）をはじめとする数々の著名な客を家に迎えました。

注：2019 年現在、河原田家武家屋敷は改修中のため中には入れません。2021 年に再び一般公開される予定です。